

世界史B 11 ルネッサンス

15~16世紀ヨーロッパ→3つの動き

- ㄱ()1---北イタリア諸都市から
- ㄷ()2---スペイン・ポルトガルやがてオランダ・イギリス
- ㄴ()3---「新大陸」への移民・布教

「ルネッサンス」---()4を意味するフランス語→文化全般の発展
 ・ヒューマニズム---()5主義を土台とする個人主義、合理主義、現実主義の精神。
 ・()6諸都市の発展---東方世界=東ローマ・イスラム諸国=との交流。十字軍。

①イタリアルネッサンス

ヴェネツィア・ジェノバ・()7などの海港都市---十字軍の輸送、貿易で発展。
 フィレンツェ・トリノ・()8などの北部都市---東方世界と西欧との中継地。
 →ビザンツ帝国との関わり。商業・遠隔地貿易の繁栄による豊かな市民生活。

文学

- ()9❖a=1265~1321「神曲」=()10や皇帝も地獄や煉獄❖bに入れられる。トスカナの口語。
- ()11❖c=1304~1374「ソネット」=14行詩
- ()12=1313~1375「デカメロン」=性描写と世相風刺。
- ❖a---ドゥランテ=アリギエーリ。フィレンツェの貴族。自治をめざす白党。政争に敗れ1301年フィレンツェ追放。
- ❖b---天国に行く前の浄化の場。浄罪界。聖書になく、カトリックのみ。やがて贖宥状に結びつく。
- ❖c---アレツォ生まれ。ギベリン(皇帝派)に対立するゲルフィ(教皇派)の白党(自治派)に属し、フィレンツェ追放。

絵画

- ボッティチェリ (1444~1510)❖d「 」13「春」--人間の肉体の美
- ダ・ヴィンチ (1452~1519)❖e「 」14「最後の晩餐」『洗礼者ヨハネ』など
- ミケランジェロ (1475~1564)❖f「 」15「天地創造」「ダヴィデ」「ピエタ」など
- ラファエロ (1483~1520)❖g「 」16「聖母の婚礼」「アテナイの学堂」など
- ❖d---初期ルネッサンスフィレンツェ派の代表。ギリシャ文化に傾倒。異教的・官能的作風。
- ❖e---ヴィンチ村の生れ。フィレンツェの工房で学ぶ。のちミラノへ。盛期ルネッサンスを代表。
- ❖f---フィレンツェ生れ。教皇の依頼でシステイーナ礼拝堂の天井画、壁画などを製作。
- ❖g---ラファエロ=サンティ。ウルビーノ生れ。1504年フィレンツェへ。盛期ルネッサンス三大巨匠。

建築

ブルネレスキ(1377~1446) フィレンツェの聖マリア寺院の()17=大ドーム
 ブラマンテ (1444~1514) ()18のサン=ピエトロ大聖堂の改築
 →支柱なしで丸天井を支える→ ()19様式

政治学

マキャベリ (1469~1527)❖h「 」20=混乱するイタリアの統一を可能とする君主像を説く。
 ()21家---フィレンツェの銀行・両替商として成功。市政を握り、芸術家等を保護。
 1494年一旦追放。1532年フィレンツェ公国、1569年トスカーナ大公国形成。
 ロレンツォ・デ・メディチ(1449~92)--最盛期のメディチ家当主。ボッティチェリ、ミケランジェロらを保護。
 ❖h---フィレンツェ共和国の外交官。失脚して隠遁中に記した『君主論』をメディチ家に献上。

②ヨーロッパ諸国のルネッサンス

ネーデルラント

ファンアイク兄弟(14=5世紀) 「ヘントの祭壇画」など。初期フランドル派。
 ()22 (1528~69) 「農民の踊り」「雪の中の狩人」など。
 ()23❖i(1465~1536)「痴愚神礼讃」 ネーデルラントの司祭、人文主義者。
 →聖職者や国王たちの愚かさ、墮落を批判(ローマ教会の禁書)→宗教改革の機運
 ❖i---教会の分裂は望まず、ルターと決別。「キリストにならう」の信条。『自由意思論』

フランス

()24(1494~1553)「ガルガンチュア とパンタグリュエル物語」(1532~52・4巻)

→リヨンの医師。親子二代の巨人王の武勇伝。痛烈な支配者批判。(1453年パリ大学の禁書)

モンテーニュ (1533~1592)「()25=随想録」→ボルドー市長。新旧両教徒の調停に努力
 →異なる信条を相互に認めあう()26の精神を説く。

イギリス

チョーサー (1340~1400) 「カンタベリ物語」 イングランドの国民文学。
 トーマス・モア❖j(1478~1535)「 」27❖k→理想郷から英国社会を痛烈に批判。
 ❖j---国王ヘンリー8世の側近。大法官。王の二度目の妻アン・ブーリンとの結婚を認める宣誓を拒否しさらに「国王至上法」に反対して1535年処刑される。アン・ブーリンも娘のあと、男子を流産し翌年処刑される。
 その娘⇒【 】28
 ❖k---「何処にもない」の意。司祭・貴族階級なく市民平等。私有財産の廃止。1日[]時間労働。
 シェイクスピア(1560~1616) 「 」29「ヴェニス商人」「リア王」など
 スペイン
 セルバンテス (1547~1616) 「 」30→郷土の騎士道失敗談。

③技術の進歩と科学の端緒

- ・ルネッサンスの「三大発明」⇒中国起源、イスラム世界を経てヨーロッパへ伝わり改良。
- ㄱ()31→銃、火砲→戦術を一変させる→騎士の没落。
- ㄷ()32印刷術→出版→ドイツのグーテンベルグ(1400~68)による金属活字
- ㄴ()33→遠洋航海→ヨーロッパ人の海外進出を可能に。
- ・「()34説」の復活=カトリック教会→プロレマイオス以来の「天動説」
- ㄱ()35=1473~1543 ポーランド人司祭。地動説を死後出版。「天球回転論」
- ㄷ()36=1548~1600 イタリア人。ドミニコ会修道士。地動説を主張し、異端として火刑に。
 処刑の場となったローマのカンポ・デ・フィオーリ広場には現在ブルーノ像が建つ。
- ㄴ()37=1564~1642 イタリア人。ピサ大学教授。宗教裁判で自説を捨てる表明をし、終身刑に。
 「それでも[]38は動く」
 →20世紀末にローマ教皇ヨハネ・パウロ2世のもとでこれらの裁判の不当性が確認された。



ヴィーナスの誕生



小椅子の聖母



最後の晩餐



ダンテ



ダ・ヴィンチ



エラスムス



トーマス・モア



ブルーノ



ガリレオ

- ・教皇 ・人文 ・再生 ・寛容 ・活版 ・地動 ・火薬 ・君主論 ・大航海 ・羅針盤 ・宗教改革 ・最後の審判
- ・ピサ ・ミラノ ・ダンテ ・エッセー ・ガリレイ ・ブルーノ ・イタリア ・ラブレール ・ヴァチカン ・ペトルルカ
- ・ドゥオーモ ・ハムレット ・ボッカチオ ・モナリザ ・エラスムス ・ユートピア ・ブリュゲル
- ・コペルニクス ・ルネッサンス(2) ・ドン=キホーテ ・小椅子の聖母 ・ヴィーナスの誕生